



## 基本施策 7-5 生涯学習を充実させる

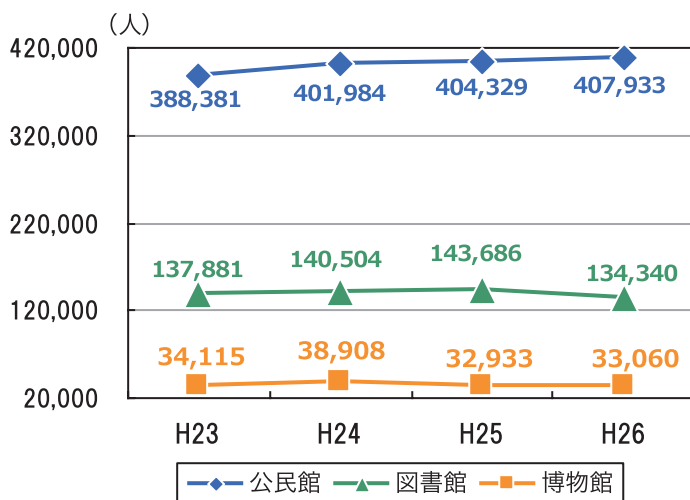
### 現状

人口減少・少子高齢化・高度情報化の進展など社会構造の変化や経済情勢の変動、個人のライフスタイルの多様化など、急激に社会全体が変動している状況において、教育基本法第3条で定める生涯学習社会の構築は、さらにその重要性が増しています。その柱である、「あらゆる機会にあらゆる場所で学習できる環境」づくりについては、従来から生涯学習施設の整備や市民ニーズに対応した講座、研修会等を整えるなど、その充実に努めており、今後においてもニーズを的確に把握し、内容を更に充実することが求められています。

一方で、もう一つの柱の「学習した成果を適切に生かせる社会」づくりについては、市民が生涯学習に関心を持ち、自主的に学び、それを生かす活動を展開するという点では十分といえないことから、市民が自主的に取り組む生涯学習活動の活発化が求められています。

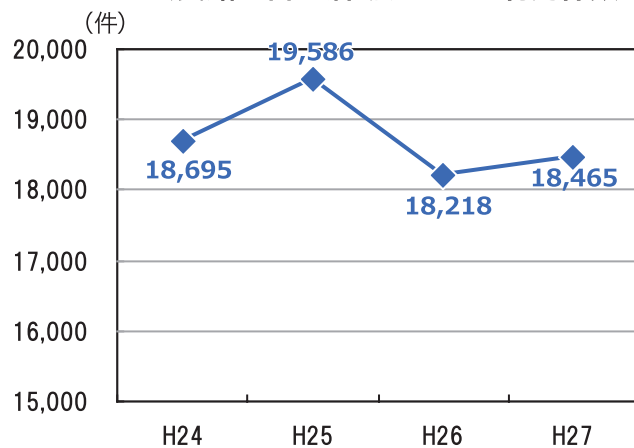
また、生涯学習の一つである「家庭教育」は、少子化・核家族化・経済格差の拡大などの様々な要因からその重要性は増しており、学校・家庭・地域の連携を図り、地域の教育力の向上による「家庭教育」の推進が求められています。

社会教育施設の利用者数



◆生涯学習課調べ

公民館の自主活動グループ利用件数



◆生涯学習課調べ

### 課題

- 市民ニーズに合わせた学習内容（講座・研修等）の充実
- 生涯学習への参加機運の醸成
- 学習成果の活用の活発化
- 家庭の教育力の向上
- 地域コミュニティの強化及び地域教育力の向上

### 具体的な施策

- ①学習機会を充実させる
- ②学習活動のきっかけをつくる
- ③学習成果の活用を支援する
- ④家庭教育を充実させる
- ⑤地域教育力を高める

## 目指すまちの姿

ライフステージに応じ、市民一人ひとりが自ら学び続け、その学びがまちづくりに活用されています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 学習機会を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的学習機会の提供及び内容の充実</li> <li>ライフステージに合わせた社会教育施設での講座、展示会、研修等の実施</li> <li>社会教育施設の整備及び適正な管理</li> </ul>	市民大学地域いきいき学部受講者延べ人数	1,827人 ／年	2,700人 ／年	生涯学習課
② 学習活動のきっかけをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを通じた継続的な学習意欲の向上及び参加意識の醸成</li> <li>市広報誌、情報誌や市ホームページ、SNS*等による学習情報の提供</li> <li>子どもの読書活動の支援</li> </ul>	「なすしおぼらまなび博覧会」の来場者数	3,800人 ／回	10,000人 ／回	生涯学習課
③ 学習成果の活用を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民講師による講座の実施</li> <li>育成した指導者による生涯学習活動等への支援</li> <li>講座等を通じて形成された自主活動グループへの支援</li> </ul>	生涯学習出前講座の実施数(市民編)	6件／年	20件／年	生涯学習課
④ 家庭教育を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育相談体制の充実(家庭教育オピニオンリーダーの活用)</li> <li>家庭教育支援事業の実施</li> <li>親学習等を通じた学びと交流機会の提供</li> </ul>	出前講座親学習の実施数	27回／年	35回／年	生涯学習課
⑤ 地域教育力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域学校協働本部の設置及び支援</li> <li>地域コミュニティ組織の育成及び活動支援</li> <li>地域コーディネーターの育成</li> </ul>	地域学校協働本部の設置数	0組織	10組織	生涯学習課

## 関連する計画

第2期生涯学習推進プラン(平成29～33年度)

第2期子どもの読書活動推進計画(平成29～33年度)

※SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、人と人とのつながりを促進・支援するコミュニティ型の会員制サービス、又はサービスを提供するWebサイト及びネットサービスのこと。



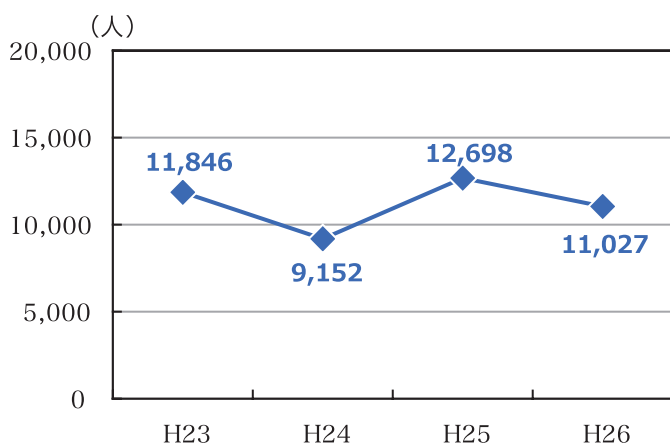
## 基本施策 7-6 芸術・文化環境を充実させる

### 現状

近年は人々の価値観の多様化に伴い、物の豊かさだけでなく、心の豊かさや生きがいのある充実した生活が求められてきており、潤いのある心豊かな暮らしを実現するためには、芸術文化の力が重要です。芸術文化に対する市民の要求も多様化する傾向にあり、身近に多様な芸術文化に触れ、参加する機会を増やすことが求められています。

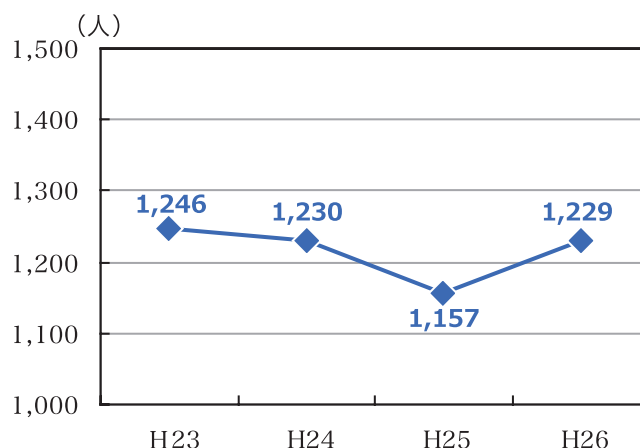
また、本市には、長い歴史の中で形作られた有形無形の文化の蓄積があり、これまで大切に保存伝承されてきました。それらの貴重な文化財を有効に活用しながら、新たな文化を創造発展させることが求められています。

黒磯文化会館自主事業鑑賞者数



◆那須塩原市文化振興公社：黒磯文化会館自主事業開催状況

那須塩原市文化協会会員数



◆那須塩原市文化協会：総会資料

### 課題

- 多様な芸術や文化に親しむ機会の提供
- 芸術・文化活動を担う人材や団体の育成・支援
- 文化財の保存・伝承と有効活用

### 具体的な施策

- ①芸術・文化活動を充実させる
- ②文化団体を育成・支援する
- ③文化財を有効活用する

**目指すまちの姿** 地域の歴史や文化を学び、様々な芸術文化に触れることにより、ふるさとへの愛着と誇りが育まれ、芸術文化活動も活発になっています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H 2 6 (基準年度)	R 4 (目標年度)	
① 芸術・文化活動を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた芸術・文化に触れる機会の提供</li> <li>小中学生に向けた鑑賞事業の実施</li> <li>地元音楽家等の人材の活用と新たな発掘</li> <li>文化施設の適正な管理運営</li> <li>文化施設の整備・改修の実施</li> <li>アートを活用したまちづくりの推進</li> </ul>	文化振興事業 *の鑑賞者数	8,568人 /年	13,000人 /年	生涯学習課
② 文化団体を育成・支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民文化団体（くろいそオペラ、劇団なすの等）活動への支援</li> <li>文化協会本会及び支部の運営、活動への支援</li> </ul>	文化協会会員数	1,229人	1,400人	生涯学習課
③ 文化財を有効活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな文化財の指定と既存の文化財の保護と維持管理</li> <li>無形民俗文化財保存団体への支援</li> <li>文化財を活用した地域活性化の推進</li> </ul>	博物館展示室 入館者数 (付属施設含む)	22,736人 /年	35,000人 /年	生涯学習課



博物館での企画展



嶽山帯根神社梵天上げ（無形民俗文化財）

※文化振興事業：市が主催・共催する芸術文化鑑賞事業（小学校演劇公演、移動音楽鑑賞教室、巡回伝統芸術教室、くろいそオペラ、那須野の大地 ほか）



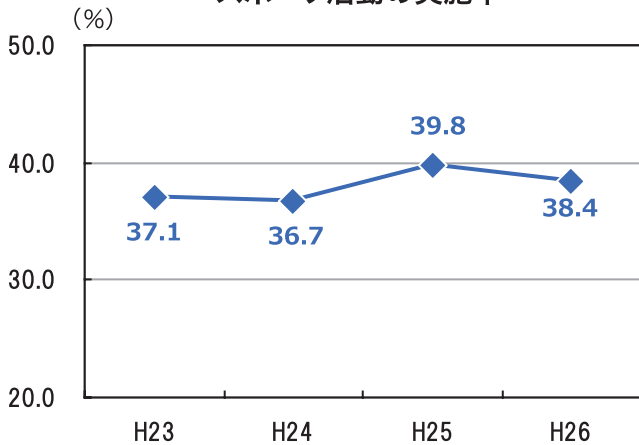
# 基本施策 7-7 生涯スポーツを充実させる

## 現状

少子高齢化や高度情報化が急速に進行するなか、本市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は本県平均を下回っています。多様化する人々の価値観やライフスタイルに対応するため、市民それぞれのニーズに合わせ、誰もが気軽に身近に感じる「スポーツ環境の整備」を推進して行くことが求められています。

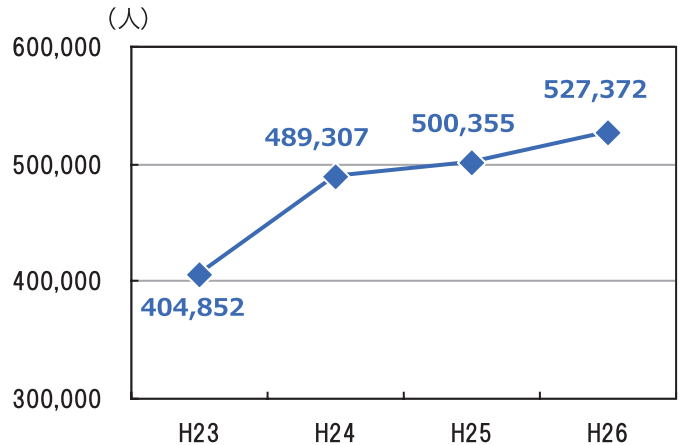
また、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピック、平成34年に本県で開催される第77回国民体育大会を控え、「スポーツ施設の整備」は急務であり、また、スポーツに対する期待、関心の高まりを「生涯スポーツの推進」に繋げて行くことが求められています。

本県成人の週1日以上  
スポーツ活動の実施率



◆栃木県：スポーツ推進計画2020

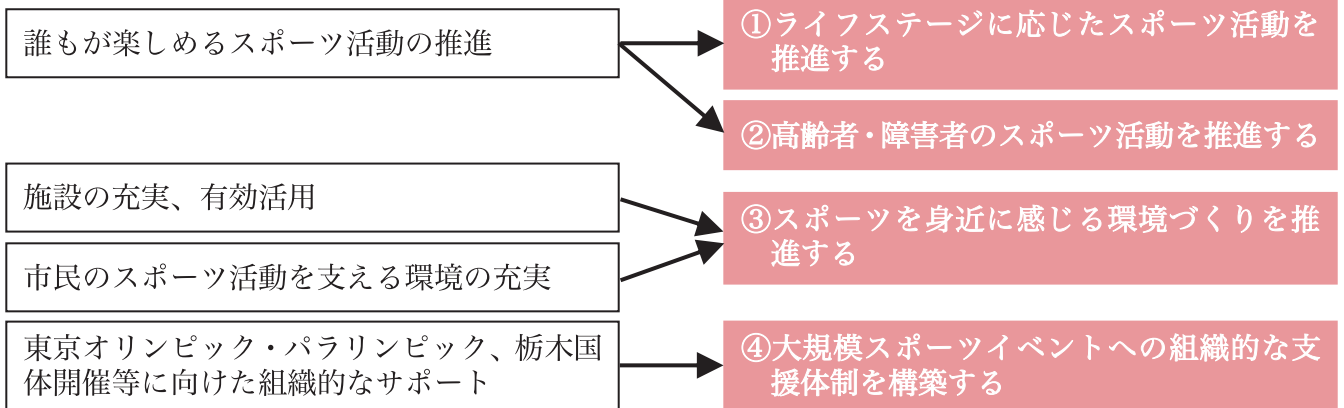
市スポーツ施設利用者数



◆スポーツ振興課調べ

## 課題

## 具体的な施策



目指すまちの姿

市民の一人ひとりがいつでも、どこでも、いつまでも、それぞれのライフステージに応じた運動やスポーツに親しんでいます。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に楽しめるニュースポーツ事業の促進</li> <li>・市民が親しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進</li> <li>・スポーツへの関心を向上させるための情報発信力の強化</li> </ul>	スポーツへの関心度（する・見る）	—	50%	スポーツ振興課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が地域で身近に親しめるニュースポーツ・レクリエーションの普及・情報発信</li> <li>・障害者スポーツの普及促進</li> </ul>				スポーツ振興課
③ スポーツを身近に感じる環境づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設整備計画に基づく施設の整備</li> <li>・後期施設整備計画の推進</li> <li>・総合スポーツの推進拠点（総合スポーツゾーン）の検討</li> <li>・スポーツ教室の開催</li> <li>・観光資源等を活用したスポーツ大会等の開催・誘致</li> <li>・地域スポーツクラブとの連携、設立に向けたサポート</li> <li>・地域スポーツ指導者の育成</li> <li>・各種スポーツ団体との連携強化及び育成・支援の継続</li> </ul>	市スポーツ施設利用者数	527,372人 ／年	600,000人 ／年	スポーツ振興課
④ 大規模スポーツイベントへの組織的な支援体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツボランティア組織の構築</li> <li>・県や競技団体との連携によるアスリートの育成</li> <li>・各種競技団体等の体制強化、競技力向上の支援</li> <li>・指導者への資質向上に向けた支援</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致</li> </ul>	スポーツボランティア組織の会員数	0人	100人	スポーツ振興課

関連する計画

スポーツ推進基本計画(平成29～33年度)  
 スポーツ施設整備計画(平成25～29年度)

